

月刊 永藤タイムズ

大規模災害から命を救うために

～ 東京消防庁、DMAT 視察 ～

大阪府議会議員
ながふじ ひでき
永藤英機です。

7

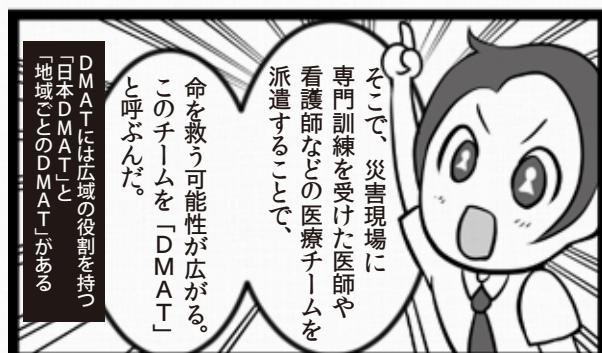
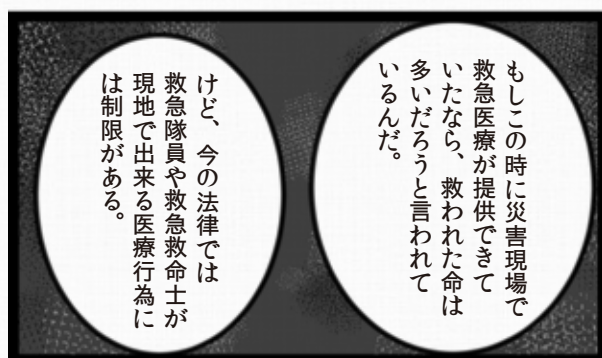
月25日に大阪維新の会
府議団の担当議員にて

東京都を訪れました(副政調
会長・上島議員、健康福祉部
会長・永野議員、警察部会長・
上田議員、総務部会長・永藤)。
視察の大きな目的は2つです。
まず日本DMAT事務局(国
立病院機構災害医療センター)
にて、現状のDMATの状況
と課題を確認すること。もう
一つは東京消防庁(第八消防
方面本部)にて、ハイパーレ
スキュー(消防救助機動部隊)
の取組み及び東京消防庁の広
域消防機能について学ぶこと
です。

DMAT

DMATとは、大規模災害時に
現場に駆けつけることで

DMATの役割



る医療チームで、専門的な訓練を受けた医師や看護師などで構成されています。平成7年に阪神淡路大震災が発生した際に、災害現場における医療行為について多くの課題が浮き彫りとなり、平成16年に全国で先駆けて「東京DMAT」が発足しました。今回は広域的な役割を担う日本DMATの事務局が置かれている災害医療センターにて事務局長に話を伺い、現在のDMATが抱えている課題、より効果的な仕組みとなるために求められることなど貴重な意見交換を行うことができました。現在、大阪医療センター(大阪市中央区)にも日本DMAT事務局が置かれていますが、経験の差などから熊本地震のような西日本の大

規模災害においても東京事務局が中心的な役割を担ったとのことです。この先、大阪事務局が西日本の拠点として広域的に対応できるように、大阪府としても提案を行っていきたいと考えています。

東京消防庁

各市町村が消防行政を担っている大阪の仕組みとは違い、東京消防庁は東京都のほぼ全域の消防・防災業務を請け負っています。(本来は東京23区を管轄するが、23区外ほとんどの地域では効率性の面などから東京消防庁に業務委託を行っている)。東京消防庁は規模としても自治体消防では世界一と言われている、この規模であるからこそハイパーレスキューなど特別な技

術・能力を持つ組織を持つことが可能になっています。大阪を含む関西地方でも今後、南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が予想されていて、その対策が練られています。一方で「大規模災害だけをとりえて議論することは危険」との意見もありました。今回の視察で学んだ東京の仕組みを参考にしながら、府民の生命を守るために大阪にとってどのような体制が最善なのか検討し、議会で提案をしていきます。





維新府議団では大阪府に相応しい消防体制を検討するために府下全ての市町村の消防本部にてヒアリングを行っています。7月15日には大阪維新の会府議団の西林議員、中野議員と共に堺市消防局を訪れ、消防局長・堺市危機管理室長をはじめ消防や危機管理に携わる担当職員の方々と意見交換をさせていただきました。

その中では堺市消防局と大阪府、国との連携方法、緊急消防援助隊（大規模災害時の地域を越えた消防連携）に関して現状や課題への確認を行うと同時に、現在大阪府で検討が進められている「大阪消防庁」についても堺市消防局としての考えを伺いました。消防行政が抱える課題は大阪府内の市町村によって異なります。大阪府議会議員として、地元堺にとつて効果的であることはもちろん、大阪府域全体にとつてもより望ましい消防体制となるように検討を重ね、提案を行っていきます。

※この結果は8月に行う維新府議団から松井知事への「知事提言」に反映される予定です。

● 出前 府政 報告会、行います！ ●



3名様以上お集まりの場にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。（会費無料）

月刊永藤タイムズバックナンバー・Twitter 案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき

検索



コラム「消防行政と、広域行政の一元化」

消防は、基本となる「消火・救急・救助活動」をはじめ、日々の予防や指導、講習など住民が安心して暮らすために貴重な数多くの役割を担っています。これらに加えて阪神淡路大震災や平成23年の東日本大震災の経験から、近い将来発生することが見込まれている大規模災害への備えや対応も重要な課題です。今回の記事で紹介した消防庁や消防局、DMATの取組みは大規模災害対応の中心となるものです。いつ起こるとも分からない大災害に、自前の組織とネットワークを駆使して最大限力を発揮できる仕組みであるように、議員も現状を正しく把握しておく必要があると考えています。私は現在、大阪府議会で危機管理を担当する「総務常任委員会」の委員長を務め、維新府議団でも総務部会長という立場にあります。地域の皆様と日頃の防災意識を高める取組みを行いながら、大阪府として各機関と連携しながら災害時にも最大限の力を発揮できるように、尽力したいと考えています。

【永藤英機 プロフィール】

昭和51年7月13日生まれ（40歳）。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。（堺市堺区選出）大阪維新の会大阪府議団・総務部会長



■ 府政に関する相談やお問い合わせは
大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで！

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、ご感想をお寄せ下さい！

